

マニュアルの使い方

本製品には次のマニュアルが用意されています。

● 安心してお使いいただくために

- パソコンをお使いになるときに守っていただきたいこと

① 基本編…パソコンがはじめての人も、そうでない人も

- パソコンを使えるようにするまで（Windowsのセットアップ）
- パソコン操作の基本
- 文字の入力
- インターネットへの接続
- 電子メールを使う
- パソコン本体の機能

② 活用編…もっといろいろなことができる

- すぐに使えるソフトウェアの紹介
- 周辺機器を使うとき
- システム構成の変更やパスワード

③ 困ったときは…わからなくなったら

- よくある質問とその解決方法
- パソコンを購入時の状態に戻す（再セットアップ）

● インターネットに接続しよう！…外の世界へ出てみよう

- インターネットに接続する方法

● オンラインマニュアル

- すぐに使えるソフトウェアの紹介
- こんなことがしたい
- 困ったときは
- パソコン用語集

*本製品の電源を入れたときに見ることができます。

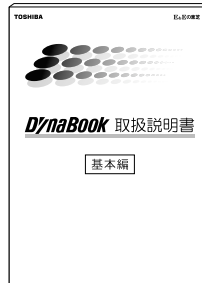
マニュアルは、本製品の使い方についてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのある方も、必ずお読みください。

お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、[スタート]メニュー - [はじめに] - [リリース情報] をクリックするとご覧になります。



《 本書 》

もくじ

マニュアルの使い方	1
もくじ	2
はじめに	6
表記について	12
パソコンの準備	14
1. パソコンの置き場所	14
2. 電源につなぐ	16
初めてパソコンを使うときには	18
1. 電源を入れる	18
2. Windows のセットアップ	18
3. ユーザ登録をする	27
4. マウスを取り付ける	28
5. マウスの使い方	29
6. 電源を切る	30

1 章 電源を入れる／切る

1 電源を入れる	32
2 電源を切る	34
3 作業を中断する	35
4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき	38

2 章 パソコンをさわってみよう

1 デスクトップとは	40
2 基本操作を覚える	41
3 ウィンドウを開く	42
4 ファイルやフォルダを作る	43
5 ファイルやフォルダをコピーする	49
6 ファイルやフォルダを削除する	51

3章 文字を入力してみよう

- 1 メモ帳を開く 58
- 2 キーボードについて 59
- 3 文字を入力する 60
 - 1. 日本語入力システムとは 60
 - 2. 入力モードを決める 62
 - 3. ひらがなを入力する 67
 - 4. ひらがなを漢字に変換する 69
 - 5. カタカナを入力する 70
 - 6. 記号を入力する 71
 - 7. 英数字を入力する 76
- 4 文書を保存する 78

4章 インターネットを楽しもう！

- 1 インターネットとは？－始める前に－ 82
 - 1. インターネットとは？ 82
 - 2. インターネットのできる事 82
 - 3. インターネットに必要なもの 83
 - 4. プロバイダを選ぶ 83
 - 5. インターネットにかかる費用 84
- 2 インターネットに接続する 85
 - 1. 電話回線のタイプを設定する 86
 - 2. パソコンと電話回線を接続する 87
 - 3. プロバイダと契約する 89
 - 4. プロバイダと契約終了後、必要な設定を行う 91
 - 5. インターネットに接続する（2回目以降） 94
 - 6. インターネット接続を終了する 95
- 3 Internet Explorer の使い方 96
 - 1. Internet Explorer 画面 96
 - 2. ホームページを検索する 97
 - 3. よく見るページを登録する（お気に入り） 98

4	知っているとお利便なこと	102
	1. 最初に表示されるページを変更する	102
	2. ホームページの画像を保存する	103
	3. ホームページの画像を壁紙に設定する	104
	4. ホームページをダウンロードする	106
	5. ファイルをダウンロードする	111
	6. 以前に表示したホームページを表示する	113

5章 電子メールを使おう

1	電子メールとは?	116
	1. 電子メールとは	116
	2. メールのおくみ	116
2	必要な設定を行う	117
3	Outlook Express の使い方	123
	1. 起動する	123
	2. Outlook Express 画面	124
	3. メールを作成する	125
	4. メールを送信する／受信する	128
	5. メールを返信する／転送する	130
	6. メールを削除する	132
	7. メールを整理する	134
	8. アドレス帳を使う	136
	9. 知っておくと利便なこと	141
	10. Outlook Express を終了する	148
4	新着メールをランプで確認する	149

6章 パソコンのおくみ

1	ハードウェアとは	154
	1. 記憶装置	154
	2. 表示装置	155
	3. 入力装置	156
2	ソフトウェアとは	157
	1. OS (オペレーティングシステム)	157
	2. アプリケーション	157

7章 本体の機能を知ろう

1	各部の名前	160
2	インジケータ	163
3	キーボード	166
4	ディスプレイ	173
5	ハードディスク装置	174
6	サウンド	175
	1. スピーカの音量を調整する	175
	2. システムスピーカについて	176
7	バッテリー	177
	1. バッテリー充電量を確認する	179
	2. バッテリーを充電する	180
	3. バッテリーパックを交換する	182
8	フロッピーディスク	184
	1. フロッピーディスク	184
	2. フロッピーディスクのセットと取り出し	185
	3. フロッピーディスクを使う前にフォーマットとは	186
9	CD	188
	1. CD	189
	2. CDのセットと取り出し	190
	3. CD操作ボタンを使う	193
10	インターネットボタンとメールボタン	194
11	日常の取り扱いとお手入れ	195

8章 ローマ字入力一覧表

1	ローマ字入力一覧表	202
	さくいん	204

1章

2章

3章

4章

5章

6章

7章

8章

はじめに

このたびは、^{ダイナブック}DynaBook DB55Cシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 高調波対策について

本装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



 省電力設定について ▶ 『活用編 1章 2-東芝省電力ユーティリティ』

■ モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



●使用できない国、地域

内蔵モデムは、次の国で使用できます。

アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル

なお、その他の国、地域での許認可は受けていないため、その他の国、地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない国、地域では、その国、地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

*内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

モデムの国設定

▶ 《オンラインマニュアル-内蔵モデム用国選択ユーティリティ》

■ 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。



- ・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる国にあわせてモデムの国設定が必要です。

FCC information

Product name : DynaBook Satellite 2720 series
Model number : PS272*

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or serial port, external monitor port, PS/2 mouse port, parallel port, microphone jack and headphone port. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address : Toshiba America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697
Telephone : (949) 583-3000

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity
 EU Übereinstimmungserklärung
 Déclaration de conformité UE
 Declaración de conformidad de la UE
 Dichiarazione di conformità UE
 EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PS272* conforms to the following Standards:

Toshiba erklärt, daß das Produkt: PS272* folgenden Normen entspricht:

Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PS272* est conforme aux normes suivantes:

Toshiba declaran que el producto: PS272* cumple los siguientes estándares:

Toshiba dichiara, che il prodotto: PS272*, é conforme alle seguenti norme:

Toshiba intygar att produkten: PS272* överensstämmer med följande normer:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.”

Weitere Informationen: “Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”

Informations complémentaires: “Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”

Información complementaria: “El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”

Ulteriori informazioni: “Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”

Ytterligare information: “Produkten uppfyller kraven enligt lägspanningsdirektivet 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E

安全にお使いいただくために

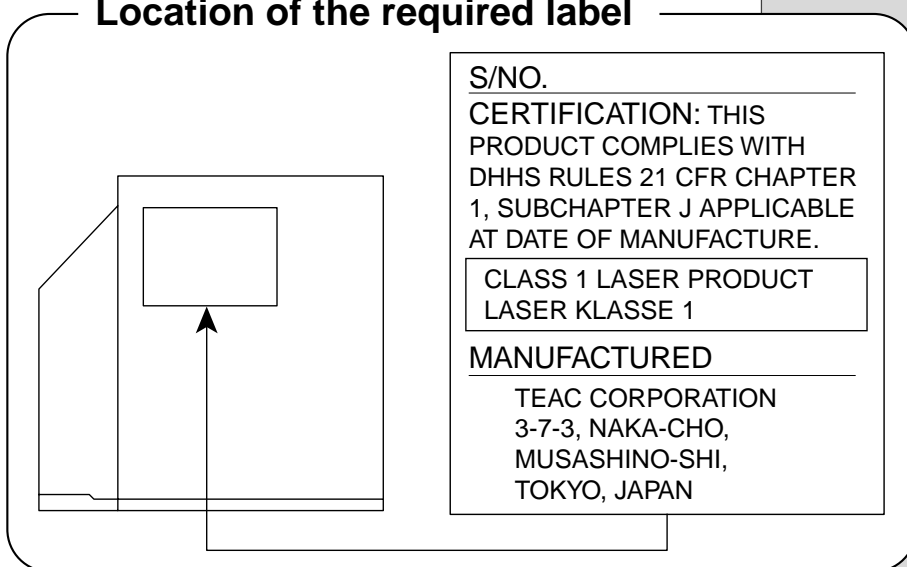
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で
“クラス 1 レーザ機器” に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 EN60825-1:94

Location of the required label



Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ SmartMedia、スマートメディアは（株）東芝の商標です。
- ・ PS/2 は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ SoundBlaster は米国 Creative Technology 社の商標です。
- ・ K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- ・ JustsystemHome、ジャストホーム、ATOK は株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。
- ・ infoPepper は東芝情報システム株式会社の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万が一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

表記について

本製品のマニュアルは、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味

警告

- ・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。

注意

- ・ 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

お願い

- ・ データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メモ

- ・ 知っておくと便利なことを説明しています。

用語

- ・ 覚えておくと役に立つ用語を説明しています。

 この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照先》

(注) 補足説明をしています。

画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。


【例】


Total = $\times \times \times \times$ KB

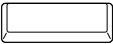
—このように画面または本文中の文字を \times で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

入力するキー

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。

Yキーを押す→  を押してください。

1キーを押す→  を押してください。

Spaceキーを押す→  (スペースキー) を押してください。

操作の表現

操作や作業は、次のように示します。

【例】

●操作が1つで済む場合は、次のように示します。

Yキーを押す

●キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

Fn + **F2**キーを押す

この場合は、**Fn**キーを押したまま**F2**キーを押します。

用語について

本書では、次のように定義します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME2000 を示します。

ATOK ATOK 12 を示します。

ジャストホームモデル

..... ジャストホームがプレインストールされているモデルを示します。

Office モデル Microsoft® Office 2000 と Microsoft® Shogakukan Bookshelf® Basic がプレインストールされているモデルを示します。

パソコンの準備

1. パソコンの置き場所

⚠ 警告

- ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。ショート、発煙のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。パソコンが落ちたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

パソコンを置く環境をととのえることによって、お使いになる人の疲れを少なくすることができます。また、本製品をより長い間お使いいただけます。ここでは、安全に、より快適に本製品をお使いいただく環境について説明します。



🙏 お願い

- ・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

設置する環境

- 温度は5～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
- パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
- 換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する
- インターネットに接続するなら、電話線接続口の近くに置く

使うときの姿勢

- キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりも膝が少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- 膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。

健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 長時間画面を見続けられないようにする
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
- 一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30分に2～3分とるのが理想的です。

2. 電源につなぐ

⚠ 警告

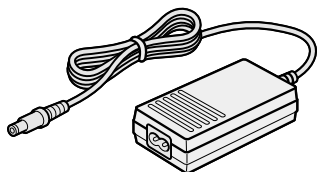
- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・海外で使用する場合は、別途電源コードをお買い求めください。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・必ず本体付属の AC アダプタを使用してください。
本体付属以外の AC アダプタをご使用になりますと、電圧や (+) (-) の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。

■ AC アダプタ

パソコン本体に電源を供給する機器です。電源コネクタに接続します。

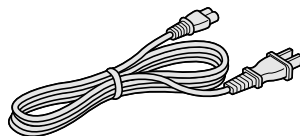


仕様は次のとおりです。

入力	AC100V~240V、1.50A~0.85A、50/60Hz
出力	15V、4A

■ 電源コード

電源コンセントから、AC アダプタに電源を供給するケーブルです。



AC アダプタに接続します。

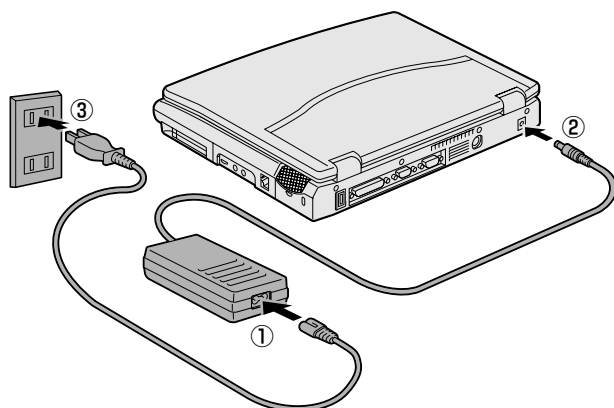
国内向け (100V) の仕様ですので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。




お願い

- ・ AC アダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

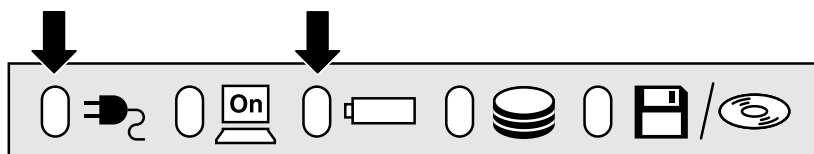
パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。ACアダプタ、電源コードの接続は、次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。



電源コードを接続したら、DC IN  LEDが緑色に点灯するのを確認してください。

また、Battery  LEDはオレンジ色に点灯し、バッテリー充電中であることを表します。

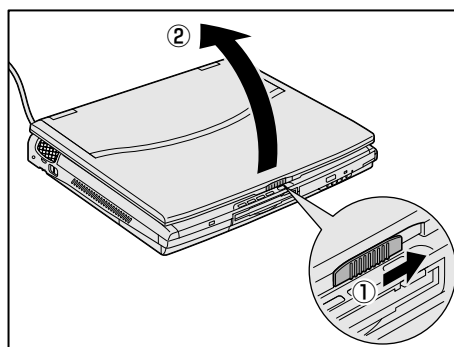
 Battery  LED ▶ 「7章 7 バッテリー」



電源コードが接続できたら、ディスプレイを開きます。

ディスプレイ開閉ラッチをスライドします。①

両手を使って、ディスプレイをゆっくりに起こしてください。②



用語

・LED

電流を流すと発光する、発光ダイオード (Light Emitting Diode) のこと。

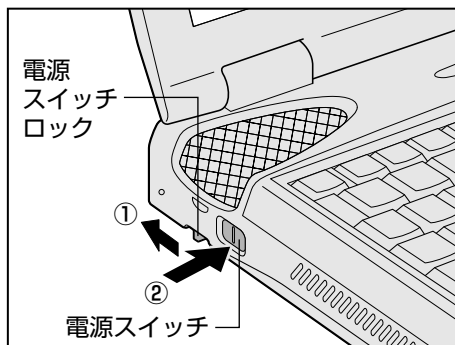
本製品では、装置の動作状況を表すインジケータを指す。

初めてパソコンを使うときには

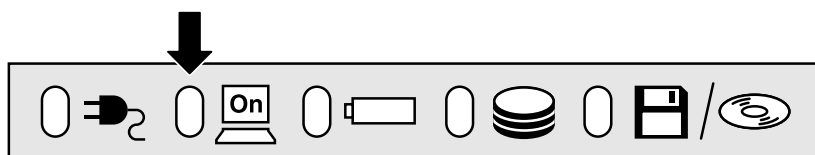
1. 電源を入れる

初めて電源を入れるときには、次の手順で行なってください。

- 1 電源スイッチロックを解除する
- 2 電源スイッチを押す



次のLEDの点灯を確認してください。



2. Windows のセットアップ

パソコンの電源を初めて入れたときには、^{Windows}Windowsが使えるようにするために「Windows セットアップ」という操作が必要です。

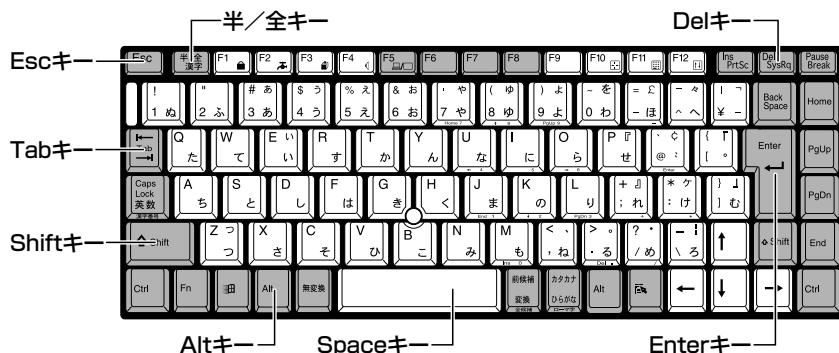
1度Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにパソコンを使うことができます。また、カスタム・リカバリCDでシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

「Windows セットアップ」は、周辺機器は取りはずし、ACアダプタと電源コードのみを接続した状態で行なってください。


 **参照** カスタム・リカバリCDについて ▶『困ったときは2章 再セットアップ』
セットアップには、キーボードとコントロールボタンの操作が必要です。



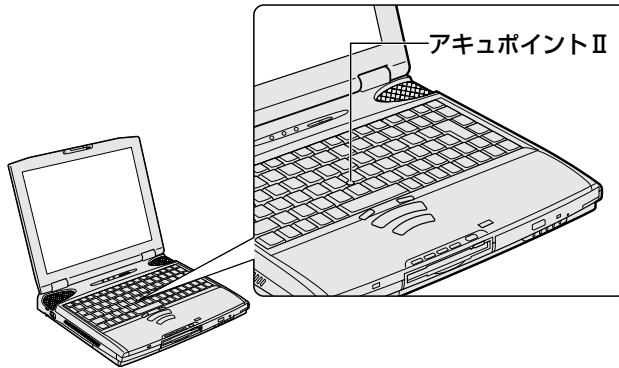
・お使いになるWindowsの管理番号を、「Product Key」といいます。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft社からの保守が受けられなくなります。




■ アクュポイントIIの使い方

画面上にある矢印マーク  をマウスポインタといいます。

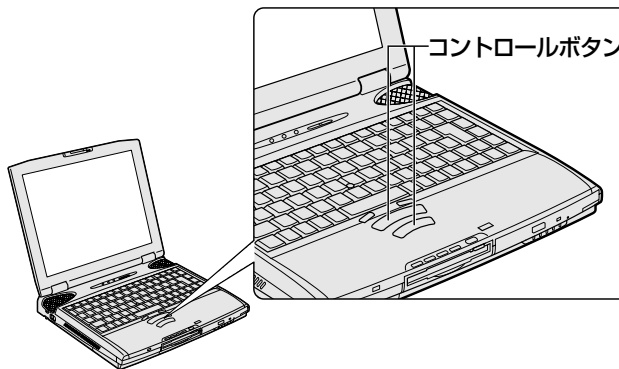
マウスポインタは、アクュポイントIIで動かします。アクュポイントIIに指を置き、押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。




 アクュポイントIIの詳しい使い方 ▶ 「2章 2 基本操作を覚える」

■ クリック

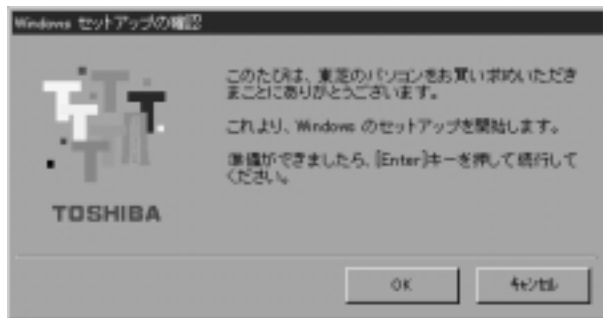
マウスポインタを、画面上の選択したい項目にあわせ、コントロールボタンの上ボタンを1回押すことをクリックといいます。よく使う操作なので、覚えてください。



 コントロールボタンの詳しい使い方 ▶ 「2章 2 基本操作を覚える」

次の手順に従って、セットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、[Windowsセットアップの確認] 画面が表示されます。



1 (Enter)キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

2 ユーザー名を入力する

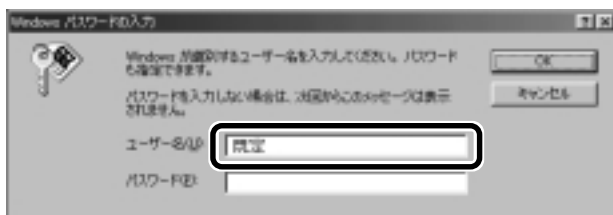
(Shift)+(Tab)キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

(Del)キーを押して「既定」を削除してください。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。

(Alt)キーを押したまま、(半/全)キーを押してください。



●ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

 [ローマ字入力について](#) ▶ [「8章 1 ローマ字入力一覧表」](#)

【例】“なかた”または“中田”と入力する場合

1 (N)(A)(K)(A)(T)(A) とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、(BackSpace)キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter)キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は(Space)キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter)キーを押す

(Space)キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。(Enter)キーを押すと、選択した漢字で確定します。



お願い

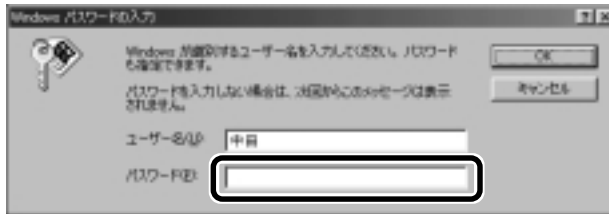
・[Windowsセットアップ]中は、電源を切らないでください。





・[Windowsセットアップ]を行う前に、30分以上アキュポイントⅡやキーを動かさなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。再度表示するには、(Shift)キーを押すか、アキュポイントⅡを動かしてください。

3 パスワードを入力する

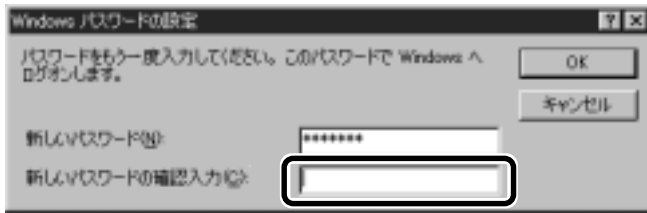
ユーザー名の入力が終わった後、**(Tab)**キーを押します。
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字
を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。



使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / （スペース）
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全角文字（2バイト文字） ・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など ・ 単独のキーで入力できない（入力するときに(Shift)キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、 ~（チルダ） など ・ ￥（エン） キーやキーを押すと￥が入力されます。 	

入力したパスワードは「****」で表示されます。
パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、**(BackSpace)**キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]** ボタンをクリックします。
[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。

●登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Del]キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift]キーと [Tab]キーを同時に押す
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 [Del]キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab]キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクターです。

操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、[F1] キーを押してください。メニューが表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

5 [次へ] ボタンをクリックする



[日本語の入力を練習しましょう] 画面が表示されます。

6 [省略] ボタンをクリックする

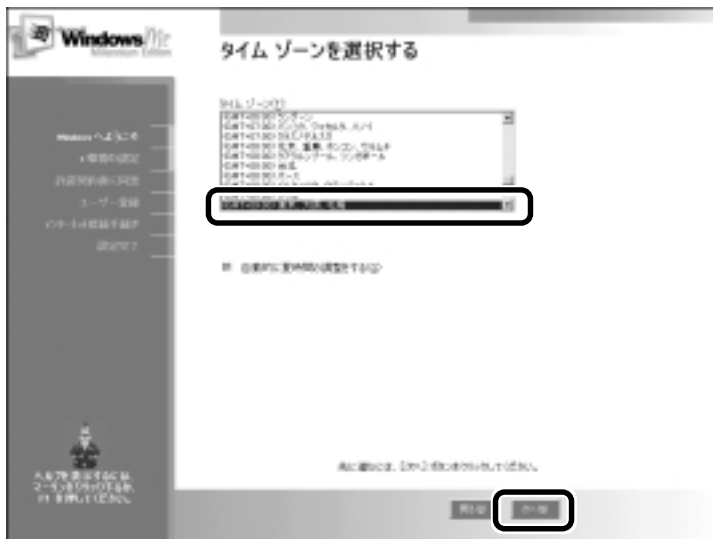


日本語入力の練習を行う場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

ここでは、日本語入力の練習は省略します。

7 [タイムゾーン] で [(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックする



[(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていない場合は、▼ ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

[使用許諾契約書に同意] 画面が表示されます。

8 画面の【同意します】をチェック（左側の○印をクリック）して、【次へ】ボタンをクリックする



契約内容を必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、(PgUp)キー、(PgDn)キーを使って画面を動かしてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

[登録先：Microsoft] 画面が表示されます。

9 画面の【いいえ、今は登録しません】をチェック（左側の○印をクリック）して、【次へ】ボタンをクリックする



オンライン登録には、インターネット（モデム）への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。

[AOLに入会して今すぐインターネットをはじめよう。] 画面が表示されます。ご購入のモデルによっては、[設定が完了しました] 画面が表示されます。その場合は、手順 11 へ進んでください。

10 [次へ] ボタンをクリックする



「設定が完了しました」画面が表示されます。

11 [完了] ボタンをクリックする



Windowsのセットアップが終了し、デスクトップ画面が表示されます。



(表示例)

 デスクトップについて ▶ 「2章 1 デスクトップとは」

Windowsの使い方

Windowsの使い方については、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。


3. ユーザ登録をする

本製品をお使いになるにあたって、東芝と Microsoft 社のユーザ登録を行なってください。今後のサービス・サポートが受けられます。

東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 「4章 2 インターネットに接続する」、『インターネットに接続しよう!』

インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

■ インターネットで登録する

本製品の一部のモデルでは、インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

[スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックする

[インターネットプロバイダと未契約の方] を選択した場合、インターネットプロバイダ「InfoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続されている方] を選択した場合は、インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由での登録を希望しない方] を選択した場合は、はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

■ すでに他のプロバイダに入会している場合


インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

Microsoft社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線につなぎ、インターネットに接続する必要があります。

 「4章 2 インターネットに接続する」、『インターネットに接続しよう!』

- ① [スタート] - [ヘルプ] をクリックする
[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。
- ② [Windows Millennium Edition を使う] をクリックする
- ③ [アプリケーションの登録] をクリックする
- ④ [Windows オンラインに登録する] をクリックする
- ⑤ 右画面の [ここをクリック] をクリックする
ウィザードが起動します。
- ⑥ 表示される画面に従って登録を行う

4. マウスを取り付ける

本製品に同梱されている PS/2 マウスを、パソコン本体の PS/2 コネクタに接続して使用することができます。

注意

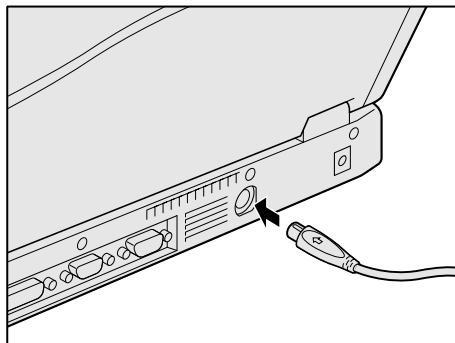
- ・ PS/2 マウスを接続する場合には、必ず電源を切ってから行なってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

本製品に同梱されている PS/2 マウスを、パソコン本体の PS/2 コネクタに接続して使用することができます。

取り付け

1 PS/2 コネクタに、PS/2 マウスのプラグを差し込む

接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



お願い

- ・ PS/2 マウスの接続は、Windows のセットアップが終了した後に行なってください。

取りはずし

- 1 パソコン本体に差し込んである PS/2 マウスのプラグを持って抜く

5. マウスの使い方

本製品に同梱されているPS/2マウスは、アキュポイントⅡとコントロールボタンの組み合わせと同じ働きをします。

左ボタン

文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ホイール

画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

右ボタン

操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーなどを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

ボール

マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

ボール固定用フタ

ボールがとび出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。

動かし方

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向にあわせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてください。マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。

クリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを1回押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ダブルクリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを、すばやく2回続けて押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ドラッグアンドドロップ	マウスのボタンを押したまま、マウスポインタを移動します（ドラッグ）。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。ホイールを回すと画面がスクロールします。

■ お願い

- マウスは平らな机の上などで使用してください。ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。



- マウスボタンやホイールの機能の割り当てや、左利きの方がお使いになるときに、左右のボタンの役割を替える場合などは、Windowsの[マウスのプロパティ]で変更することができます。[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックし、[マウス]（表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリック）をダブルクリック。

6. 電源を切る

Windowsのセットアップが終わったら、すぐにパソコンをお使いになれますが、ひとまずWindowsを終了して電源を切ってみましょう。

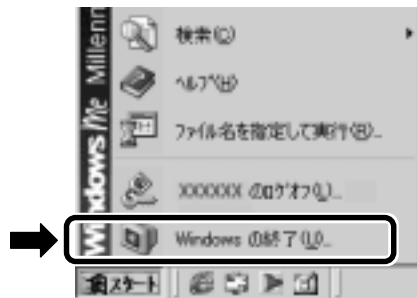
画面左下の「スタート」ボタンから行います。

1 画面左下にある「スタート」ボタンをクリックする



(表示例)

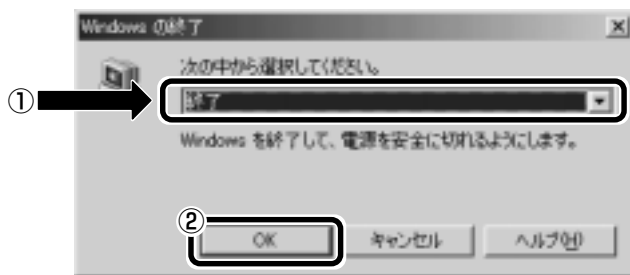
2 「Windowsの終了」をクリックする



(表示例)

「Windowsの終了」画面が表示されます。

3 「終了」が選択されていることを確認して①、「OK」ボタンをクリックする②



画面が暗くなり、パソコン本体のPower LEDが消えます。Power LEDが消えると、電源が切れたこととなります。次に電源を入れるときには、Windowsが起動します。

電源を入れる ▶ 「1章 1 電源を入れる」

1 章

電源を入れる／切る

パソコンの電源を入れる／切る
いろいろな方法について説明します。

1	電源を入れる	32
2	電源を切る	34
3	作業を中断する	35
4	簡単に電源を切る ／作業を中断するとき	38

1

電源を入れる

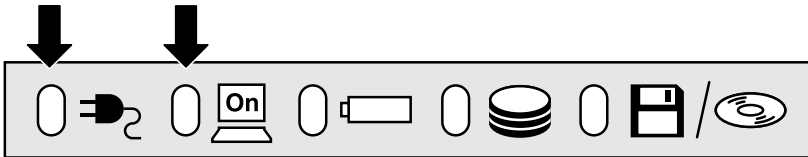
⚠ 注意

・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。


ここでは、Windowsのセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

電源に関する表示


次の図で矢印の付いているものが、電源に関する表示です。



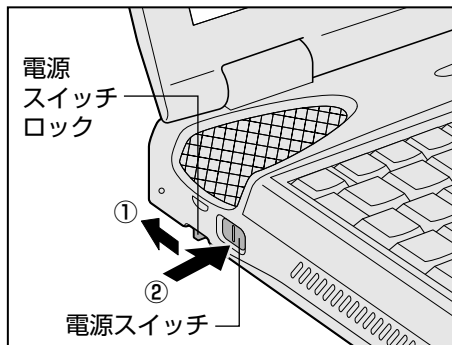
それぞれの意味は次のとおりです。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点灯	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

操作手順


- 1 フロッピーディスク装置に何もセットされていないことを確認する
- 2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 3 電源スイッチロックを解除し①、Power  LEDが点灯するまで、電源スイッチを押す②

Power  LEDが緑色に点灯します。




その後、Windowsの起動画面が表示されます。

スタンバイ機能を実行していた場合、または休止状態にしていた場合は、実行する直前の状態が再現されます。

 **参照** スタンバイ機能、休止状態について

▶ 「本章 3 作業を中断する」

パネルスイッチ機能を設定していた場合、ディスプレイを開けると、自動的に電源が入ります。

 **参照** パネルスイッチ機能について

▶ 「本章 4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき」

4 電源スイッチロックを有効（右側）にする

操作中に誤って電源スイッチを押してしまわないように、電源スイッチロックを必ず有効にしておいてください。


パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。

■ パスワードを設定している場合


パスワードを設定している場合は、電源を入れた直後に次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。

 **参照** パスワードについて ▶ 『活用編 1 章 2- 東芝 HW セットアップ』
『活用編 4 章 3 パスワードについて』

■ メッセージが表示される場合

 **参照** 不明なメッセージについて

▶ 『困ったときは 1 章 2-10 不明なメッセージが出た！』



・パスワードの入力ミス
を3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。

2

電源を切る

⚠ 注意

- ・ Disk LED または FDD/CD-ROM LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンや CD-ROM 装置のイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスク装置、CD-ROM 装置が壊れるおそれがあります。
- ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。故障の原因になります。
- ・ ディスプレイを閉じる場合は、静かに閉じてください。ディスプレイを強く閉じると、衝撃でパソコン本体が故障するおそれがあります。

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ることを「シャットダウン」といいます。必ず手順に従って電源を切ってください。

周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。

作業を中断したときの状態をいったん保存して、またすぐに使う場合は、スタンバイ機能を実行、または休止状態にすることができます。

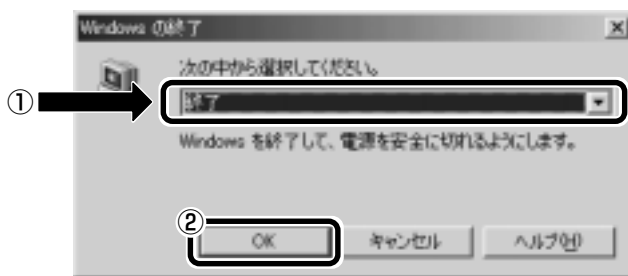
 スタンバイ機能、休止状態について ▶ 「本章 3 作業を中断する」

1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 [スタート] ① - [Windows の終了] ②をクリックする



3 [終了] が選択されていることを確認して①、[OK] ボタンをクリックする②



⚠ 注意

- ・本製品の「スタンバイ中」とは、電源がオンの状態で表示画面をオフにし、CPUおよび他のデバイスが休止している状態です。この状態のとき、バッテリーや増設メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。
- ・休止状態にするときは、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。メモリ内容の書き込み中は、Disk LEDが点灯します。Disk LED、およびPower LED点灯中は、パソコン本体の持ち運びをしないでください。ハードディスク装置が壊れるおそれがあります。

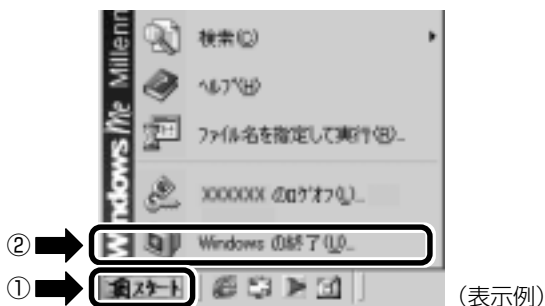
スタンバイ機能を実行したり、休止状態にすると、中断した作業の続きをすぐに再開することができます。

スタンバイ機能

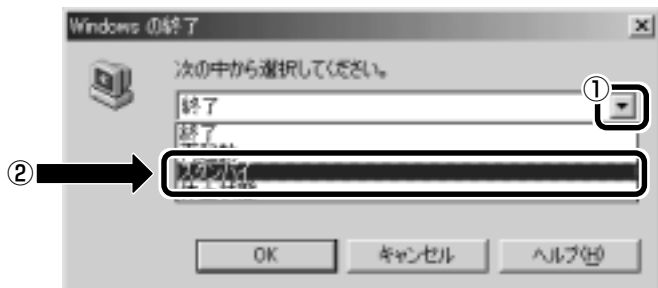
作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源を入れると、状態を再現することができます。

スタンバイ機能を実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイ機能を実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

1 [スタート] ① - [Windows の終了] ②をクリックする



2 [スタート] ボタンをクリックし①、[スタンバイ] を選択する②



3 [OK] ボタンをクリックする

4 Power LEDがオレンジ点灯しているか確認する



- ・スタンバイ機能または休止状態を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

休止状態

作業を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入ると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

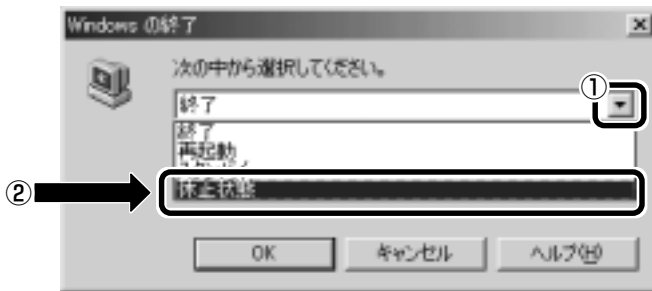
1 休止状態を有効に設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] をダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェック (☑) する
休止状態が有効になります。

2 [スタート] ① - [Windows の終了] ② をクリックする




3 ▼ ボタンをクリックし①、[休止状態] を選択する②



4 [OK] ボタンをクリックする

[スタート] メニューから以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときにもスタンバイ機能を実行したり、休止状態にすることができます。

その場合は、設定が必要です。

 設定について ▶ 「本章 4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき」



・ 休止状態にするときは、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LED が点灯しますので、LED の点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。



・ [コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

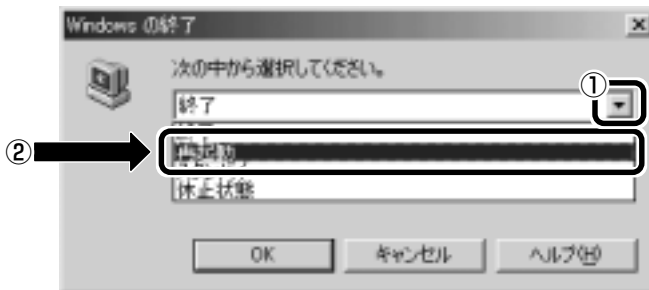
再起動とは

いったんWindowsを終了した後、すぐにもう一度起動することを再起動といいます。パソコンの設定を変えたときや、パソコンがスムーズに動かなくなってしまうときなどに行います。

1 [スタート] ① - [Windowsの終了] ②をクリックする



2 ▼ ボタンをクリックし①、[再起動] を選択する



3 [OK] ボタンをクリックする

[スタート] メニューから電源を切る、または作業を中断する以外にも、電源スイッチを押したとき、ディスプレイを閉じたときに、シャットダウン、スタンバイ機能の実行、または休止状態にすることができます。

電源スイッチを押す

休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェック (☑) する

休止状態のサポートが有効になります。

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [電源ボタンを押したとき] で「スタンバイ」「休止状態」「電源オフ」のいずれかを選択する

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると電源を切る、または作業を中断することを、パネルスイッチ機能といいます。スタンバイ機能の実行、または休止状態にできます。休止状態にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
 - ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
 - ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェック (☑) する
- 休止状態のサポートが有効になります。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ③ [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で「スタンバイ」「休止状態」「電源オフ」のいずれかを選択する

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
次にディスプレイを開くと、自動的に電源が入ります。



- ・ [コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。
- ・ (Fn)+(F3)キーを使用して、電源スイッチを押したときの動作を切り換えることもできます。



詳細について

- ▶ 「7章 3-(Fn)キーを使った特殊機能キー」



- ・ [コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。
- ・ 手順1の④で「何もしない」を選択すると、パネルスイッチ機能は動きません。

2 章

パソコンをさわってみよう

Windows の基本操作について説明します。
はじめて Windows をお使いになる方はお読みください。

- 1** デスクトップとは 40
- 2** 基本操作を覚える 41
- 3** ウィンドウを開く 42
- 4** ファイルやフォルダを作る 43
- 5** ファイルやフォルダをコピーする 49
- 6** ファイルやフォルダを削除する 51

1 デスクトップとは

パソコンに表示される画面全体をデスクトップといいます。

デスクトップとは「机の上」のことで、画面全体を机、パソコンを使って動かすものを文房具などの道具にたとえた言い方です。パソコンでも机の上のように、いろいろな道具を使って作業することができます。

ここでは、デスクトップに表示されているものの役割を確認しましょう。

*画面は実際の表示と異なる場合があります。

アイコン
よく使うファイルが、絵のマークで表示されます。

マイドキュメント
自分で作った文書などを保存する場所です。

マイコンピュータ
お使いのパソコンの構成を知ることができます。

ごみ箱
いらなくなったファイルをいったんここに捨て、まとめて消去します。

クイック起動ボタン
通常はアイコンや [スタート] メニューから起動するものを、ボタンをクリックするだけで簡単に起動できます。

[スタート] ボタン
このボタンをクリックすると、[スタート] メニューが表示されます。マウスポインタでメニューの階層をたどってクリックすると、目的の操作を始めることができます。

日本語入力システムツールバー
日本語入力システムの機能を設定するボタンが表示されます。

タスクバー
現在、Windows上で作業しているものの名前が一覧表示されます。右端にはいろいろなアイコンが表示され、音量などの設定が手軽にできます。また、バッテリーの状態も確認できます。

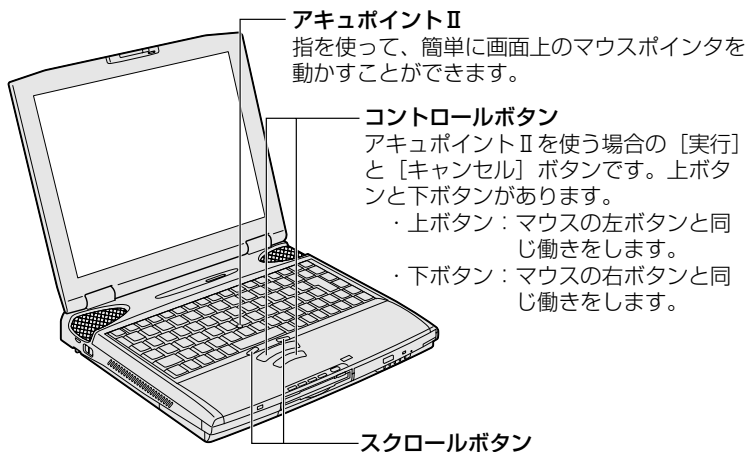


・Windowsの使い方については、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』、または [スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『ヘルプとサポート』をご覧ください。


2

基本操作を覚える


ここでは、画面上での操作について説明します。



アキュポイントIIとコントロールボタン

画面上にあるマウスポインタ () は、アキュポイントIIで動かします。アキュポイントIIに指を置き、押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

マウスポインタは、同梱されているマウスを接続して動かすこともできます。

 マウスについて ▶「初めてパソコンを使うときには-5 マウスの使い方」マウスポインタを画面上の項目にあわせ、コントロールボタンで選択します。コントロールボタンでは、次の操作ができます。

クリック	コントロールボタンの上ボタンを1回押します。
ダブルクリック	コントロールボタンの上ボタンを2回続けて、「カチカチ」とすばやく押します。アプリケーションの起動などができます。
ドラッグアンドドロップ	コントロールボタンの上ボタンを押したまま、アキュポイントIIでマウスポインタを動かします。画面上のアイコンなどがマウスポインタと一緒に移動します(ドラッグ)。目的の場所でボタンから指を離すと、移動中の項目がそこに配置されます(ドロップ)。
右クリック	コントロールボタンの下ボタンを1回押します。メニューが表示されます。ここでは、マウスを使うときの呼び方と同じ「右クリック」とします。

スクロールボタン

画面上では表示しきれない部分を、スクロールして見るすることができます。

画面上で見えない部分があったとき、左右どちらかのボタンを押すと、画面の表示が移動して隠れていた部分が表示されます。



・何かが起動してしまった場合は、本章の「3 ウィンドウを開く」をご覧ください。



・次の場合、アキュポイントIIを操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。
・電源を入れたとき
・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき
この場合は、マウスポインタが動かなくなるまで待つてから、アキュポイントIIを使用してください。



・アキュポイントIIとPS/2マウスを同時に使用する設定をした場合、PS/2マウスの仕様によっては、アキュポイントIIおよびPS/2マウスを同時に使用できなくなる場合があります。この場合は、PS/2マウスだけの使用に設定してください。

3 ウィンドウを開く


Windows では、一つ一つのデータや道具を窓のかたち（ウィンドウ）で開き、操作します。

「マイドキュメント」のウィンドウを開いてみましょう。

1 デスクトップにある【マイドキュメント】アイコン（）にマウスポインタをあわせ、ダブルクリックする

【マイドキュメント】のウィンドウが開きます。

閉じるボタン——
ウィンドウを閉じます。

最大化ボタン（元のサイズに戻すボタン）——
ウィンドウを画面いっぱいに表示します。
最大化された状態のとき、同じ位置に出る元のサイズに戻すボタン（）をクリックすると、ウィンドウが元の大きさに戻ります

最小化ボタン——
ウィンドウをタスクバーにおさめます。
タスクバーのウィンドウ名をクリックすると、元に戻ります。

タイトルバー——
ウィンドウの名前が表示されます。
この部分にマウスポインタをあわせてドラッグすると、ウィンドウを移動することができます。


メニューバー——
それぞれのボタンをクリックすると、メニューが表示されます。項目をクリックして、いろいろな指示を出すことができます。

ツールバー——
メニューバーのメニューの中で、よく使う指示がボタンで表示されます。

アドレスバー——
開いているウィンドウが、パソコンのどこにあるのかを表示します。

ステータスバー——
ウィンドウの状態などが表示されます。

ウィンドウ説明——
ウィンドウの名前やアイコンの内容説明が表示されます。

スクロールバー——
ウィンドウの大きさでは画面に表示しきれない部分があるときに表示されます。
バーをドラッグするか、矢印ボタン（）をクリックしてスクロールすることができます。

ウィンドウの境界線にマウスポインタをあわせると、矢印が（）の形に変わります。その状態でドラッグすると、ウィンドウの大きさを変えることができます。

ここからは、表示される画面全体のことを「デスクトップ」、開いたウィンドウのことを「画面」と呼びます。

4

ファイルやフォルダを作る

パソコンのデータは、「ファイル」の単位で保存・整理します。

また、ファイルをまとめておく入れものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にはさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。

先ほど開いた「マイ ドキュメント」もフォルダです。

Windows は、たくさんのファイルやフォルダで構成されています。

ここでは、フォルダとファイルを自分で新しく作成し、管理する方法について説明します。

フォルダを作る

[マイ ドキュメント] の中に、フォルダを作ってみましょう。


- 1 [マイ ドキュメント] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



メニューが表示されます。

2 マウスポインタを [新規作成] にあわせる

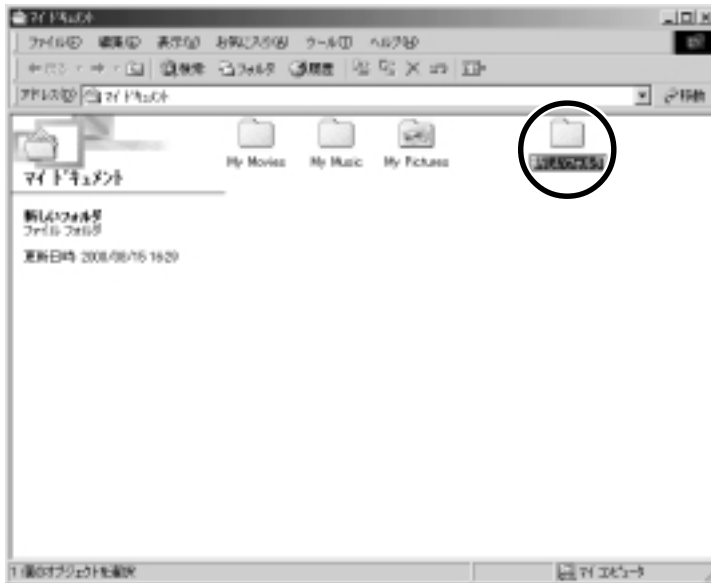


右端の  の右にメニューが表示されます。

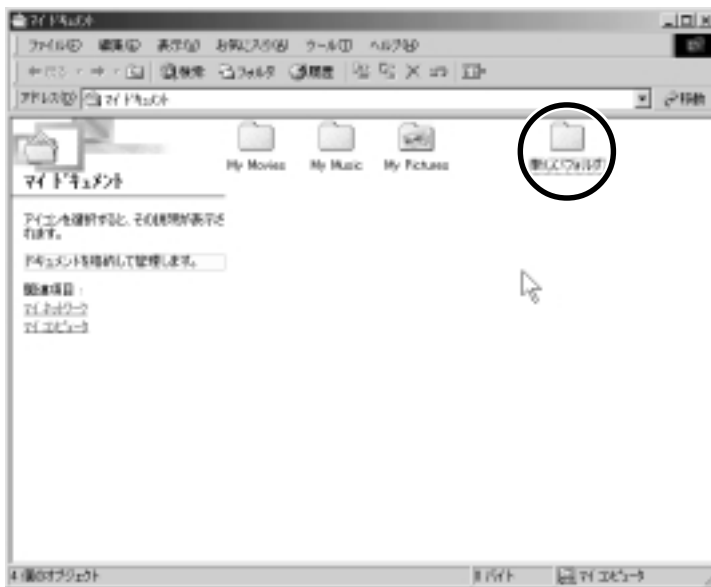
3 [フォルダ] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[マイドキュメント]の中に、[新しいフォルダ]が作成されます。



フォルダ名が反転表示されて確定していない場合は、[マイドキュメント]の中の何もないうちにマウスポインタを移動してクリックすると、フォルダ名がそのまま[新しいフォルダ]で確定されます。




これで、[マイドキュメント]の中に、[新しいフォルダ]を作ることができました。

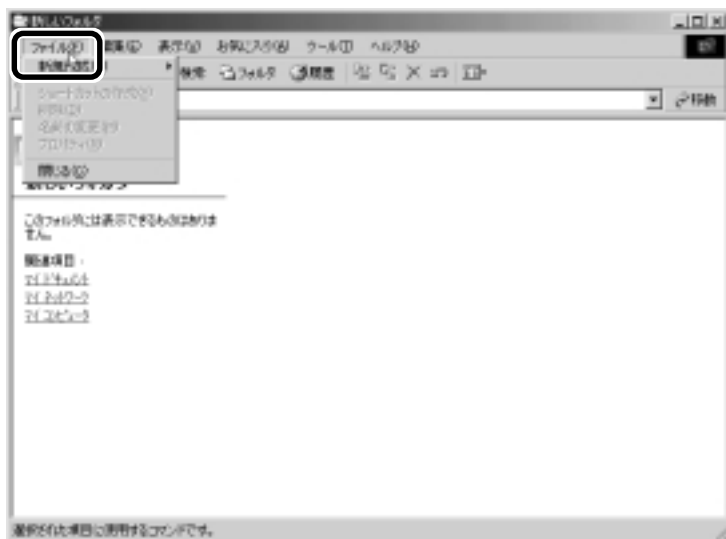
ファイルを作る

フォルダを作ったら、その中にファイルを作ってみましょう。
ここでは、「テキスト文書」ファイルの作り方について説明します。

1 [新しいフォルダ] をダブルクリックする

[マイ ドキュメント] 画面が消えて、[新しいフォルダ] 画面が開きます。
中にあるフォルダを開くと、上の階層のフォルダに重なり、上の階層のフォルダ画面は自動的に閉じます。上の階層のフォルダ画面をもう一度表示させる場合は、ツールバーの [上へ] ボタン () をクリックしてください。

2 [新しいフォルダ] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



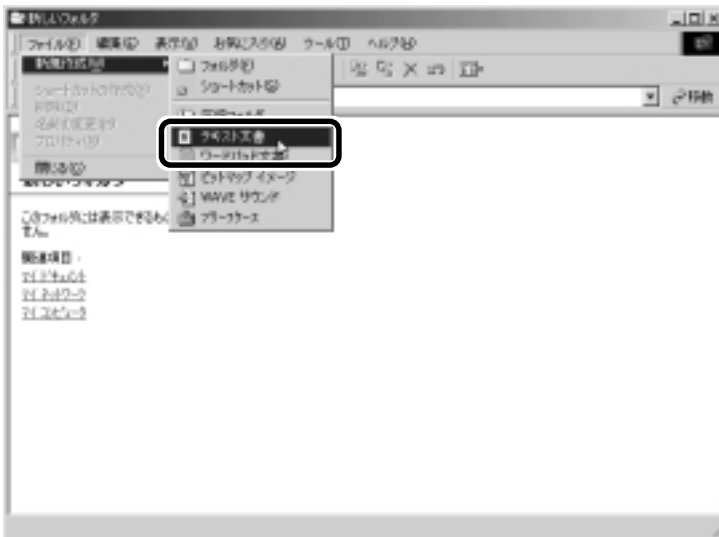
メニューが表示されます。

3 マウスポインタを [新規作成] にあわせる

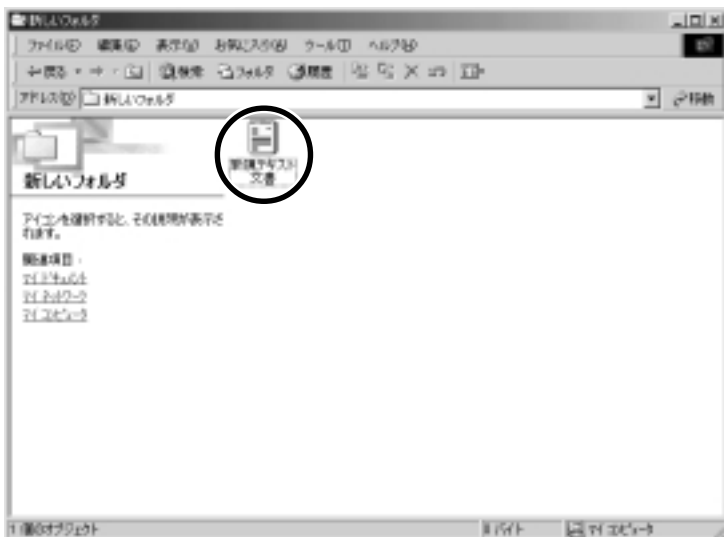


右端の ▶ の右にメニューが表示されます。

4 [テキスト文書] にマウスポインタをあわせ、クリックする



[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト文書] が作成されます。



ファイル名が反転表示されて確定していない場合は [新しいフォルダ] の中の何も無いところをクリックして、ファイル名をそのまま [新規テキスト文書] で確定してください。

これで、[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト文書] ファイルを作ることができました。

フォルダやファイルに名前を付ける

フォルダやファイル名を反転表示させると、文字を入力して名前を付けることができます。

 文字の入力について ▶ 「3章 3 文字を入力する」

フォルダやファイル名は、次の手順で反転表示できます。

1 フォルダやファイルのアイコンをクリックして選択する

2 少し間を置いてアイコンのファイル名の部分をクリックする、またはメニューバーの [ファイル] - [名前の変更] をクリックする

フォルダやファイル名が反転表示されます。

ここでは、ファイルの名前は [新規テキスト文書] のままでかまいません。次に進んでください。

用語

・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

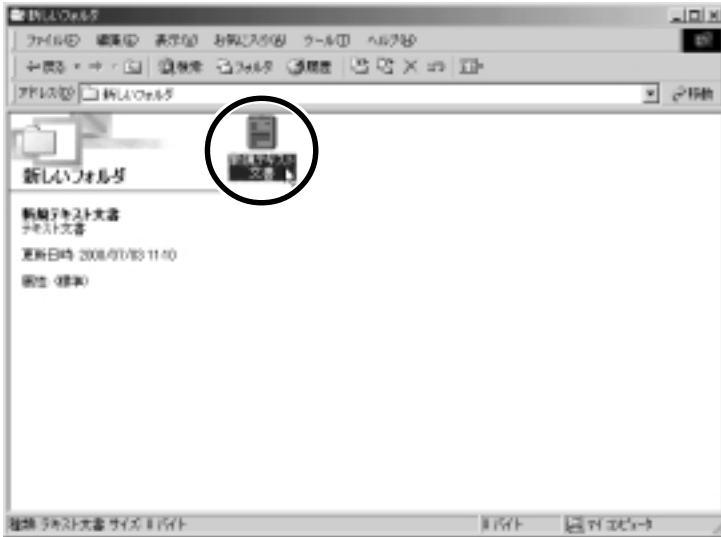
いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、一度削除して入力し直す。

5

ファイルやフォルダをコピーする

ファイルやフォルダは、簡単に複製を作る（コピーする）ことができます。ここでは、[新しいフォルダ]の中に作った[新規テキスト文書]を[マイドキュメント]フォルダにコピーしてみましょう。

1 [新しいフォルダ] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする



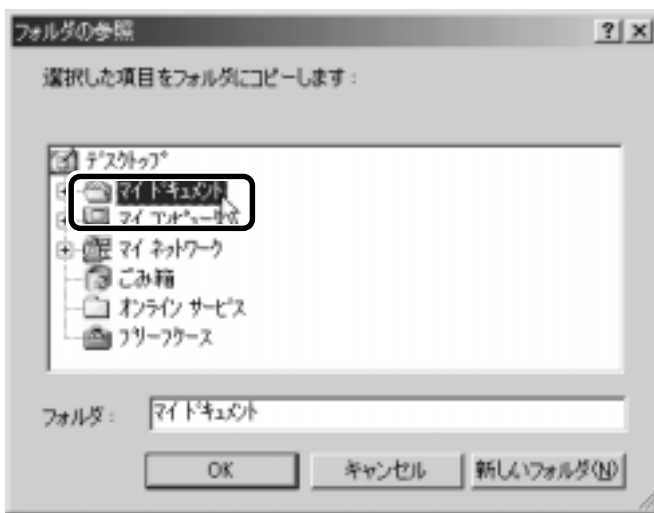
アイコンが反転表示されます。

2 ツールバーの [コピー先] ボタン () をクリックする

[フォルダの参照] 画面が表示されます。

3 [フォルダ] 欄が [マイドキュメント] になっているか確認する

ほかの場所になっている場合は、上の一覧から [マイドキュメント] をクリックしてください。




4 [OK] ボタンをクリックする

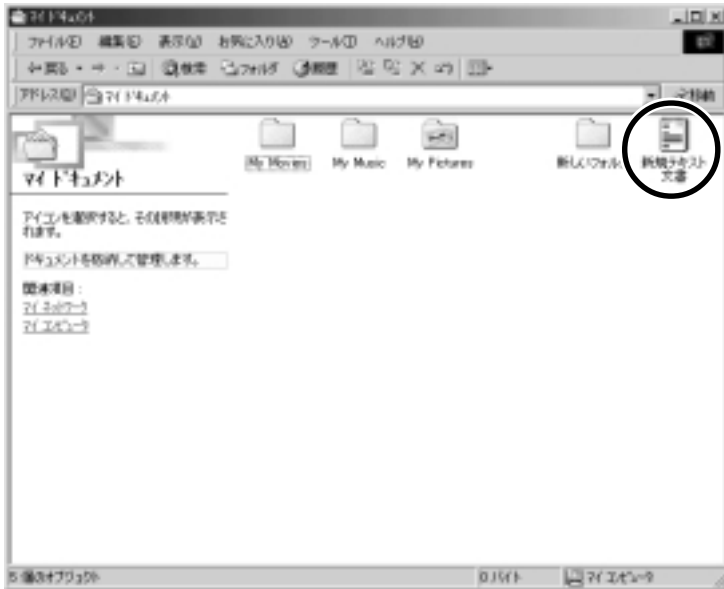
2章

パソコンをさわってみよう

これで [新規テキスト文書] をコピーすることができました。

[上へ] ボタン () をクリックすると、ひとつ上の階層にある [マイドキュメント] 画面が表示されます。

[新規テキスト文書] があることを確認してください。



6

ファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダを削除するときは、いったん [ごみ箱] フォルダに入れてから、まとめて消去します。誤ってファイルやフォルダを削除してしまっても、[ごみ箱] フォルダにあるうちは、元の場所に戻してまた使うことができます。

[マイ ドキュメント] にコピーした [新規テキスト文書] を削除してみましょう。

1 [マイ ドキュメント] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする

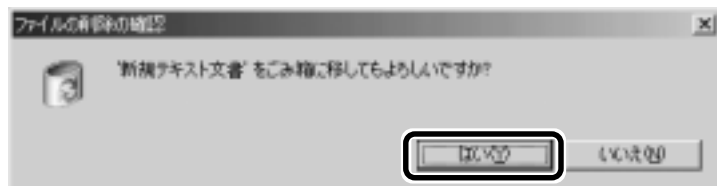


アイコンが反転表示されます。

2 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする

[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。

3 [はい] ボタンをクリックする



[マイ ドキュメント] フォルダから [新規テキスト文書] が消えますが、ファイルはなくなったわけではありません。[ごみ箱] の中に移動しています。



・ [新しいフォルダ] 画面から [マイ ドキュメント] 画面に移動するには、ツールバーの [上へ] ボタンをクリックします。

2章

パソコンをさわってみよう

4 デスクトップの [ごみ箱] アイコン () をダブルクリックする

[ごみ箱] 画面が開き、削除した [新規テキスト文書] が表示されます。



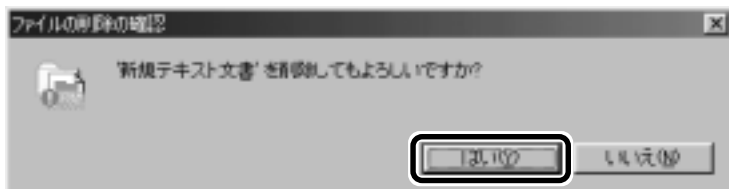
5 [ごみ箱] 画面で [新規テキスト文書] をクリックする



アイコンが反転表示されます。

6 ツールバーの【削除】ボタン (X) をクリックする

【ファイルの削除の確認】画面が表示されます。

7 【はい】ボタンをクリックする

【新規テキスト文書】が完全に削除されます。



・【ごみ箱】から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行ってください。

2章

パソコンをさわってみよう

■ まとめて削除する方法

「ごみ箱」画面でファイルやフォルダ名を選択せずに、「ごみ箱を空にする」ボタンをクリックした場合は、「ごみ箱」にあるファイルやフォルダすべてを削除することができます。



・「ごみ箱」から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行なってください。

ごみ箱に入れたファイルを元に戻す

「ごみ箱」にあるファイルやフォルダを元に戻すときは、次の手順で行います。

1 デスクトップの「ごみ箱」アイコン () をダブルクリックする

「ごみ箱」画面が開きます。



2 [ごみ箱] 画面で元に戻したい項目をクリックする

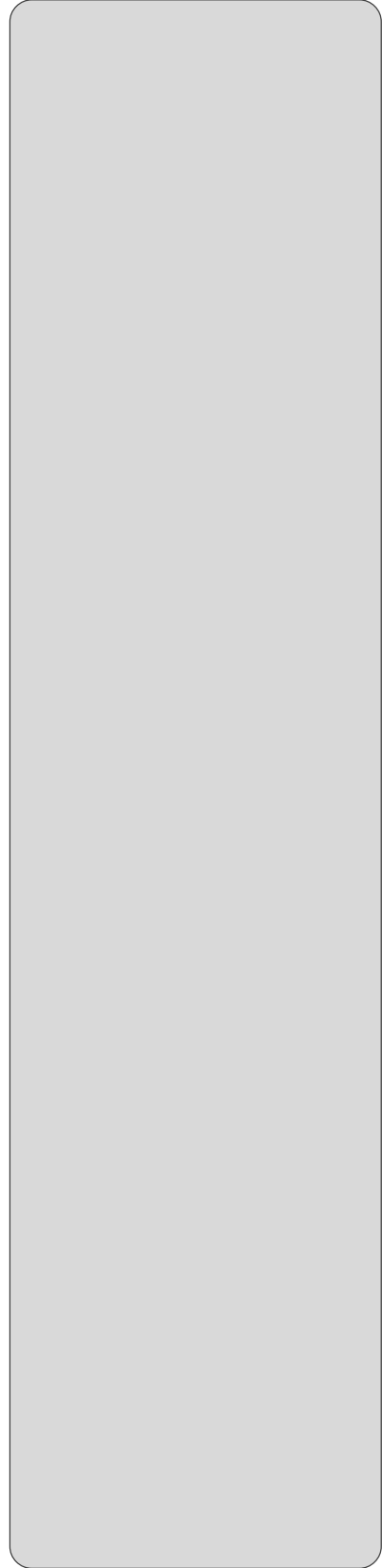
選択した項目が反転表示されます。



3 [元の場所に戻す] ボタンをクリックする

選択したファイルやフォルダが、元の場所に戻ります。





3章

文字を入力してみよう

キーボードで文字を入力し、
文書を作成する方法について説明します。

1	メモ帳を開く	58
2	キーボードについて	59
3	文字を入力する	60
4	文書を保存する	78

1

メモ帳を開く

ここでは、文書ファイルにキーボードを使って文字を入力し、文書として保存する方法について説明します。

はじめに、文字を入力するファイルを開きましょう。

ここでは、Windowsに付属のアプリケーション「メモ帳」を使って「テキスト文書」を作成します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックして、[プログラム] - [アクセサリ] - [メモ帳] までたどり、[メモ帳] をクリックする



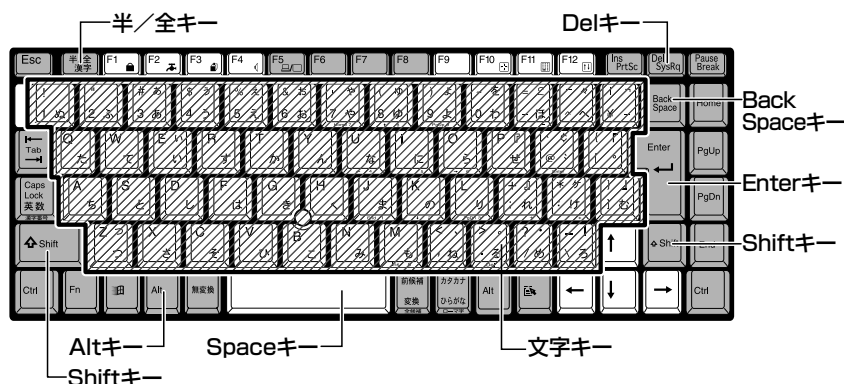
(表示例)

[無題 - メモ帳] 画面が開きます。



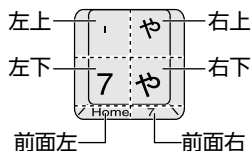
2

キーボードについて



文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。
文字キーに印刷されている2~6種類の文字や記号は、制御キーで使い分けます。



■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。

■ 右上

かな入力ができる状態で(Shift)キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音、拗音が入力できます。

■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。

■ 右下

かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

【参照】かな入力の設定 ▶ 「本章 3-2 入力モードを決める」

■ 前面左

アロー状態のときに押すか、(Fn)+(Shift)キーを押しながら押すとカーソル制御キーとして使えます。

【参照】アロー状態 ▶ 「7章 2-Arrow Mode LED」

■ 前面右

数字ロック状態のときに押すか、(Fn)キーを押しながら押すとテンキーとして使えます。

【参照】数字ロック状態 ▶ 「7章 2-Numeric Mode LED」

3章

文字を入力してみよう

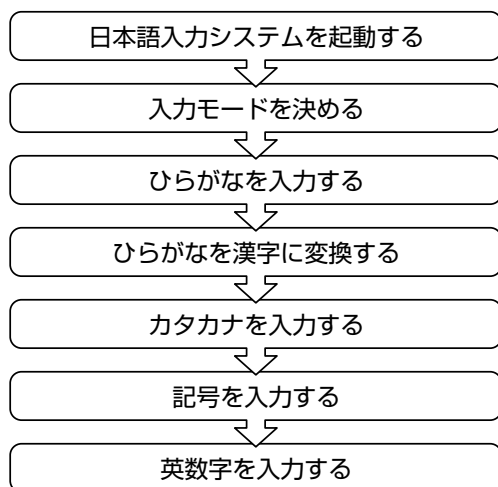


・「 \backslash 」(バックスラッシュ)を入力すると、「¥」と表示されます。かな入力状態のときに押すと、カタカナや記号が入力できます。

3

文字を入力する

ここでは、簡単な文を入力しながら、パソコンでの文字入力について覚えましょう。次の流れに沿ってすすめていきます。



1. 日本語入力システムとは

本製品には、Microsoft社製の日本語入力システムMS-IME、またはジャストシステム社製の日本語入力システムATOKをご使用になれます。使用できる日本語入力システムは、ご購入のモデルにより異なります。

Office モデル→MS-IME

ジャストホームモデル→ATOK、またはMS-IME

起動したときは、英数字入力ができるようになっています。日本語を入力できるようにするには、次の方法があります。

■ MS-IME の場合

- 入力モードボタンから選択する




ここをクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする
選択したメニューには、チェックマーク がつきます。

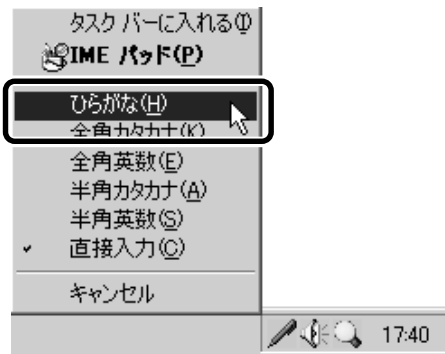
用語

・半角／全角

パソコンで入力できる文字には、「半角」「全角」2種類の大きさがある。

「半角」は漢字モードではないときに普通に表示される文字で、少し縦長。(例：A、ア)
「全角」は半角を二つあわせたくらいの大きさ。(例：A、ア)
英数字やカタカナは半角・全角どちらでも入力できるが、ひらがなと漢字は全角でのみ入力できる。

- タスクバーの () をクリックし、メニューの「ひらがな」をクリックする





(表示例)

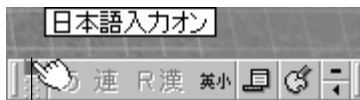
- (Alt)+(半/全)キーを押す

日本語入力が行えるようになると、MS-IMEツールバーは次のようになります。




■ ATOK の場合

- タスクバーの () をダブルクリックし、  にする
- ATOK ツールバーの緑色のインジケータをクリックする



ここにマウスポインタを合わせ、クリックする

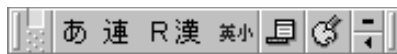
- タスクバーの () をクリックし、メニューの「日本語入力オン」をクリックする



(表示例)

- (Alt)+(半/全)キーを押す

日本語入力が行えるようになると、ATOK ツールバーは次のようになります。



2. 入力モードを決める

入力モードによって、同じキーを押したときでも、表示される文字が異なります。「ローマ字入力」は、キーに印刷されている英数字のとおりに入力して、ひらがなに変換する方法です。

「かな入力」は、キーに印刷されているひらがなのとおりに入力する方法です。日本語入力システムを起動したときの標準設定は、ローマ字入力になっています。

 ローマ字入力について ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」


かな入力に設定を変更する場合は、次のように設定してください。

キーボードで設定する

1 (Alt)キーを押したまま、(カタカナひらがな)キーを押す

画面上で設定する

■ MS-IME の場合

1 MS-IME ツールバーのプロパティアイコン () をクリックする

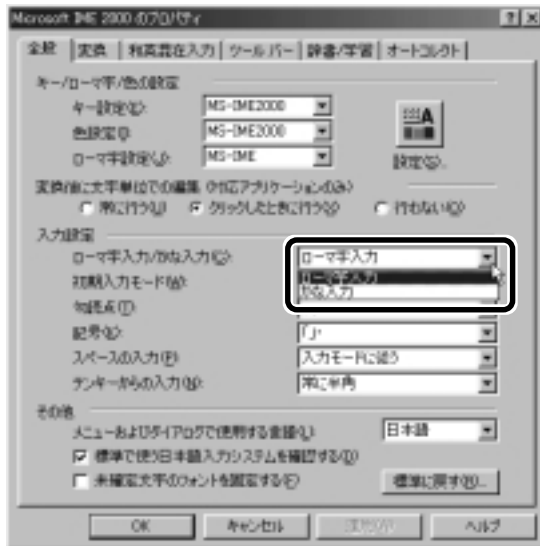
[Microsoft IME のプロパティ] 画面が表示されます。



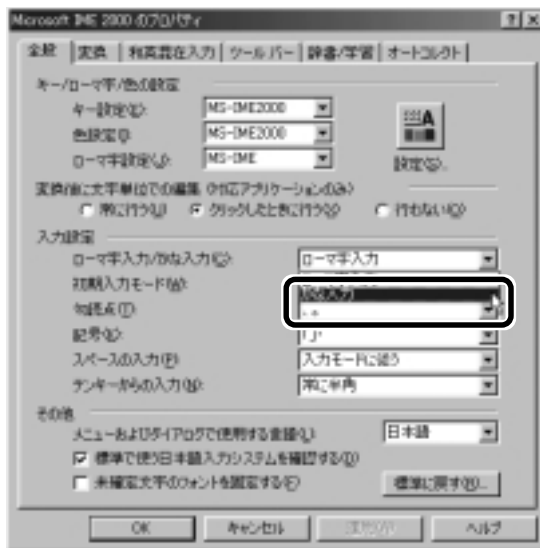
画面では「全般」タブが一番前に表示されています。表示されているタブが異なる場合は、上部のタブ名をクリックしてください。クリックしたタブが一番前に表示されます。

2 [全般] タブで、[入力設定] の「ローマ字入力/かな入力」ボックスの右にある ▾ ボタンをクリックする

「ローマ字入力」、「かな入力」のメニューが表示されます。



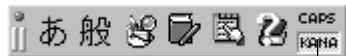
3 「かな入力」をクリックして選択する



4 [Microsoft IME のプロパティ] 画面の一番下にある [OK] ボタンをクリックする



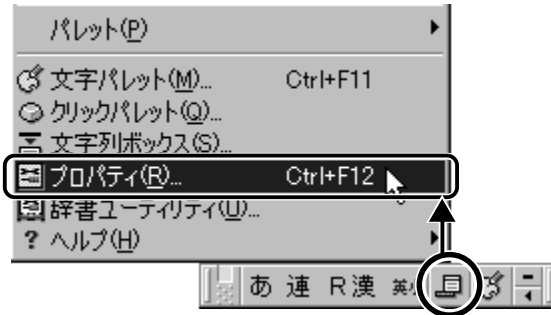
かな入力が行えるようになると、MS-IME ツールバーは次のようになります。



くぼんで表示されます。

■ ATOK の場合

- 1 ATOK ツールバーのプロパティアイコンをクリックし、[プロパティ] をクリックする



[ATOK プロパティ] が表示されます。



- 2 [入力・変換 1] タブで、[漢字入力モード] の「R 漢 / カナ漢」ボックスの右にある ▼ ボタンをクリックする

「R 漢」、「カナ漢」のメニューが表示されます。



3章

文字を入力してみよう



画面では [入力・変換 1] タブが一番前に表示されています。表示されているタブが異なる場合は、上部のタブ名をクリックしてください。クリックしたタブが一番前に表示されます。

3 「カナ漢」をクリックして選択する



4 [ATOK プロパティ] 画面の一番下にある [OK] ボタンをクリックする



かな入力が行えるようになると、ATOK ツールバーは次のようになります。



続けて、文字を入力する練習をしてみましょう。



・プロパティアイコンをクリックし、[漢字入力モード] - [カナ漢字入力] をクリックして設定を変更することもできます。この場合、パソコンを再起動すると標準設定(ローマ字入力)に戻ります。

3. ひらがなを入力する

日本語入力システムを起動したら、「本章 1 メモ帳を開く」で起動した「無題 - メモ帳」画面に、ひらがなを入力してみましょう。

画面左の一番上の段に、カーソルというたての棒が点滅しています。ここから、文字入力ができます。

 ローマ字入力について ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

* 入力画面例は MS-IME の場合です。ATOK では異なる場合があります。



それでは、次の文をつくります。

こんばんは
来週パーティーを開きます。
21日、7:00p.m.におこしください。
服部

「こんばんは」は、次のように入力します。

●ローマ字入力の場合

(K)(O)(N)(N)(B)(A)(N)(N)(H)(A)と、キーボードのキーを順に押す

●かな入力の場合

(こ)(ん)(は)(ろ)(ん)(は)と、キーボードのキーを順に押す

こんばんは|

■ 間違えたときには

(BackSpace)キーを押すと、右から順に画面上の文字が消えます。

こんばん|

その後、正しい文字を入力し直してください。

MS-IMEの場合、日本語を入力すると、文字の下に点線がつきます。これは、この文字が漢字変換できることを表しています。

ここでは、ひらがなで入力したら、(Enter)キーを押して確定してください。MS-IMEの場合、文字の下線が消えます。ATOKの場合、文字の色が変わります。

■ 確定した後、文字を削除するには

(→)(←)(↑)(↓)キーでカーソルを、消したい文字の左側に移動し、(BackSpace)キーを押します。

また、(Del)キーを押すと、カーソルのひとつ右側にある文字が消えます。

■ 改行するには

(Enter)キーを押すと、カーソルが一段下の左端に移動します。

こんばんは
|



・確定

文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定すること。

いったん確定した文字は、他の文字には変わらない。訂正したい場合は、一度削除して入力し直す。

4. ひらがなを漢字に変換する

漢字を入力するには、まずひらがなを入力し、漢字に変換します。
「らいしゅう」と入力したら、(Space)キーを押します。

こんばんは
来週

目的の漢字ではない場合は、もう一度(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。



MS-IMEの場合、一覧から(Space)または(↑)(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

ATOKの場合、一覧から(Space)または(↑)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

こんばんは
来週



・「しゅ」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、(S)(H)(U)または(S)(Y)(U)とキーを押します。



ローマ字入力について
▶「8章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力の場合は、(L)キーを押した後、(Shift)キーを押したまま、(8)(9)キーを押します。キートップ右上に印刷された、拗音などの文字を入力する場合は、(Shift)キーを押しながら文字キーを押します。

3章

文字を入力してみよう

5. カタカナを入力する

カタカナを入力したい場合は、漢字の変換と同様に、ひらがなをカタカナに変換することができます。

ひらがなで「ぱーていー」と入力します。

[Space]キーを押すと、「パーティー」と変換されます。

カタカナのみ入力するときは、ツールバーで次のように設定します。

● MS-IME



ここをクリックし、メニューから「全角カタカナ」を選択する

MS-IME ツールバーは次のようになります（ローマ字入力の場合）。

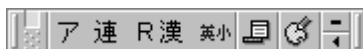


● ATOK



ここをクリックし、メニューから「全角カタカナ」を選択する

ATOK ツールバーは次のようになります（ローマ字入力の場合）。



続けて「をひらきます」と入力して「を開きます」に変換してみましょう。



・「一」と入力する方法

ローマ字入力の場合は、

[一]キーを押します。

かな入力の場合は、[一]キーを押します。

・「てい」と入力する方法

ローマ字入力の場合は、

[T][H][I]または

[T][E][X][I]とキーを押します。







[参照] ローマ字入力について

- ▶ 「8章 1 ローマ字入力一覧表」

かな入力の場合は、[て]キーを押した後、[Shift]キーを押したまま、[E]キーを押します。

6. 記号を入力する

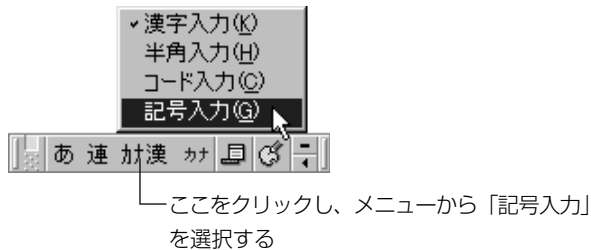
よく使う記号の入力方法は次のとおりです。


- 「、」（読点）
 ローマ字入力の場合 ..  キーを押す
 かな入力の場合 (Shift)キーを押したまま、 キーを押す
- 「。」（句点）
 ローマ字入力の場合 ..  キーを押す
 かな入力の場合 (Shift)キーを押したまま、 キーを押す
- 「？」（疑問符）
 ローマ字入力の場合 .. (Shift)キーを押したまま、 キーを押す
- 「！」（感嘆符）
 ローマ字入力の場合 .. (Shift)キーを押したまま、 キーを押す

MS-IMEでかな入力の場合、「?」「!」はMS-IMEツールバーを「半角数字」「直接入力」に変更して入力する、またはMS-IMEパッドから探してください。

ATOKでカナ入力の場合、「?」「!」はATOKツールバーを「半角英字」や「記号入力」に変更して入力する、または文字パレットから探してください。

ATOKで「記号入力」に変更する場合は、次のように操作します。



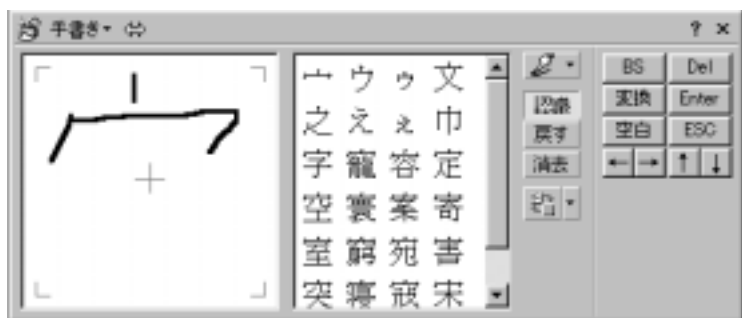
・ [] (チルダ) を入力する方法
 日本語入力システムを終了し、(Shift)キーを押しながら  キーを押します。

IMEパッドで探す

MS-IMEでは、読み方がわからない漢字や記号は、IMEパッドから探すことができます。

1 MS-IME ツールバーのIMEパッドアイコン () をクリックする

[手書き] 画面が表示されます。

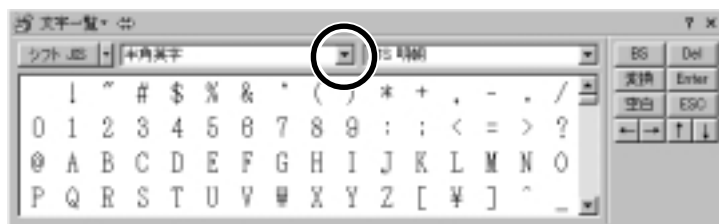


2 [手書き] をクリックして①表示されるメニューから、[文字一覧] を選んでクリックする②



[文字一覧] 画面が表示されます。

3 「半角英字」と表示されているボックスの右にある ボタンをクリックする

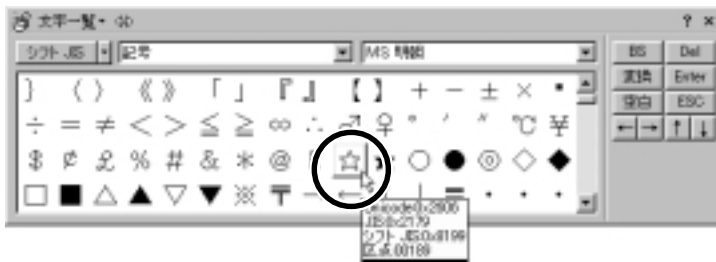


4 表示されるメニューから、[記号] をクリックする

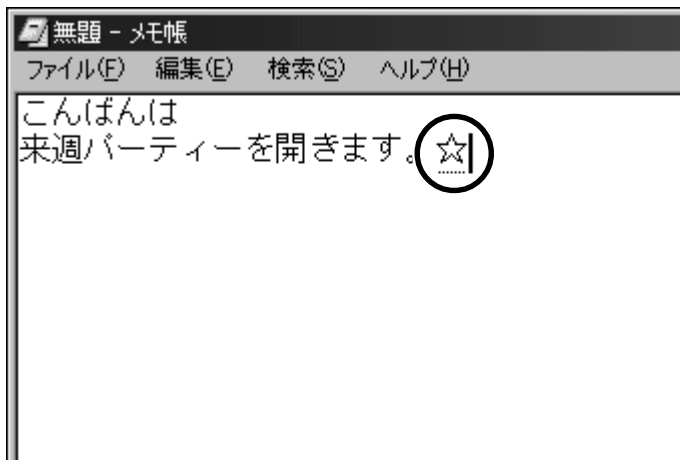


記号の一覧が表示されます。

5 スクロールバーを使って目的の記号を探し、クリックして選択する



「無題 - メモ帳」画面で、記号がカーソルの位置に入力されます。



文字パレットで探す

ATOKでは、読み方がわからない漢字や記号は、文字パレットから探すことができます。

1 ATOK ツールバーの文字パレットアイコン () をクリックする

[ATOK12 文字パレット] 画面が表示されます。



2 [記号表] タブで左の一覧から [記号・マーク] をクリックする



3 右の一覧から目的の記号を探し、クリックして選択する



4 [確定] ボタンをクリックする



「無題-メモ帳」画面で、記号がカーソル位置に入力されます。
 詳しくは、メニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「ATOK12 文字パレットのヘルプ」をご覧ください。

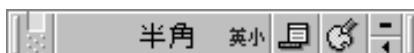
7. 英数字を入力する

英字（アルファベット）や数字を直接入力するとき、ツールバーは次のようになります。

● MS-IME



● ATOK



「ひらがなまたはカタカナ入力」⇔「直接入力」の切り替えは、(Alt)+(半/全)キーを押すと簡単にできます。

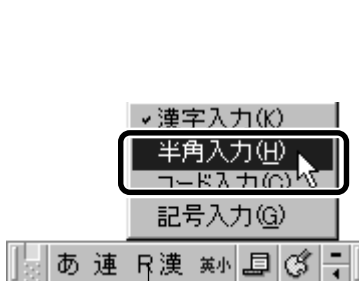
または、ツールバーで次のように設定します。

● MS-IME



ここをクリックし、メニューから「直接入力」を選択する

● ATOK



ここをクリックし、メニューから「半角入力」を選択する

「21」と入力してみましょう。

「直接入力」の場合は、文字を入力するだけで、自動的に確定されます。

続けて「日」、「7:00」「p.m.」「に」「おこしてください。」と少しずつ入力してみましょう。

(Enter)キーを押して、改行してください。「はっとり」と入力して、(Space)キーを押して変換します。



文が完成しました。



MS-IMEの場合、「全角英数」も選択できますが、英字または数字だけの文章の場合は、一般的に半角で入力します。



小さい「っ」と入力する方法
ローマ字入力の場合は、次の子音を重ねます。「服部」のときは (H)(A)(T)(T)(O)(R)(I)となります。
かな入力の場合は、(は)キーを押した後、(Shift)キーを押したまま (Z)キーを押します。

ヘルプの起動

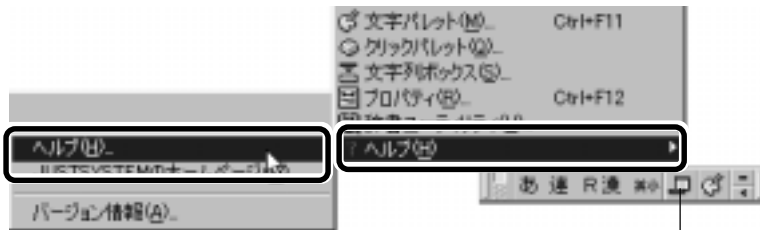
詳しい使い方については、次の手順で『MS-IME のオンラインヘルプ』または『ATOK のオンラインヘルプ』をご覧ください。

■ MS-IME の場合



ここをクリックし、メニューから「目次とキーワード」を選択する

■ ATOK の場合




ここをクリックし、メニューから「ヘルプ」 - 「ヘルプ」を選択する

「日本語入力システム」によっては、入力方法が多少異なります。MS-IME、ATOK以外の日本語入力システムをお使いになるときは、ご使用の『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。


日本語入力システムの切り替え方法

ジャストホームモデルの場合、日本語入力システムをATOKからMS-IMEに切り替えることができます。

● ATOK から ME-IME へ切り替える

タスクバーの  をクリックし、「Microsoft IME 2000 (Japanese)」をクリックする

● ME-IME から ATOK へ切り替える

タスクバーの  をクリックし、「ATOK12」をクリックする

4

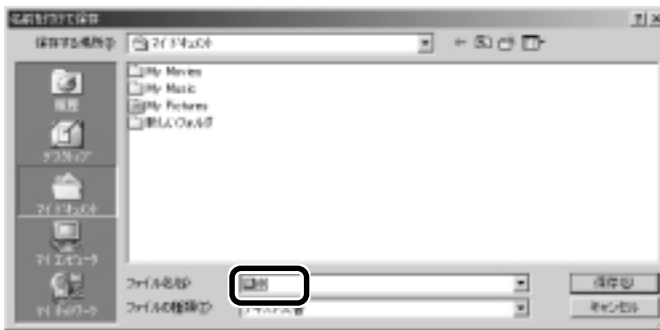
文書を保存する

作成した文書を保存して、パソコンの中に保存しておきましょう。

- 1 [無題 - メモ帳] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックして①、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする②



[名前を付けて保存] 画面が開きます。



[ファイル名] に、「無題」の文字が反転表示されています。

2 日本語入力になっているか確認する

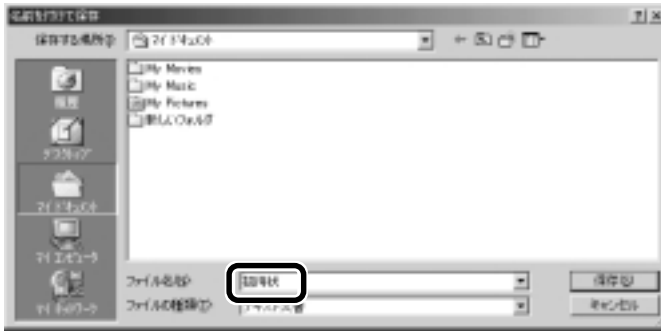
ツールバーで確認し、必要な場合は、(Alt)キーを押したまま、(半/全)キーを押して切り替えてください。



・「無題」の文字は確定されていないので、何か文字を入力して確定すると、消すことができます。

3 【ファイル名】欄に「招待状」と入力する

「しょうたいじょう」とひらがなで入力してから、(Space)キーを押して漢字に変換します。忘れずに(Enter)キーを押して確定してください。



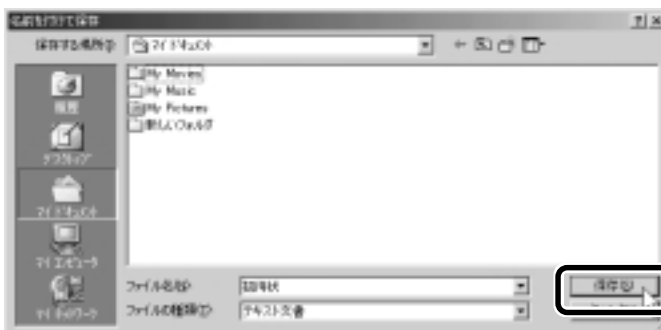
4 【保存する場所】が【マイドキュメント】になっているか確認する

ほかの場所になっている場合は、ボックス右端の ▾ ボタンを押して場所のメニューを表示します。



【マイドキュメント】をクリックしてください。

5 【保存】ボタンをクリックする



保存したら、開いていた【無題 - メモ帳】画面のタイトルが「招待状 - メモ帳」になっているか確認してください。保存したファイルは、画面右上の【閉じる】ボタン (✕) で閉じることができます。

3章

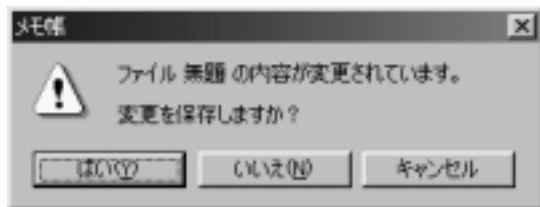
文字を入力してみよう

「招待状」を閉じたら、[マイドキュメント]を開いて[招待状]のファイルがあるか確認してください。



■ ファイルを保存せずに閉じた場合

保存されていないファイルの画面を閉じると、「変更を保存しますか?」などのメッセージ画面が表示されます。



[はい] ボタンをクリックすると、変更を保存して画面が閉じます。

[いいえ] ボタンをクリックすると、画面が閉じます。画面を起動したときの状態のまま、入力した文字などは保存されずに消えてしまいます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、元のファイル画面に戻ります。